



平成23年5月28日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社
代表者名 代表執行役社長 重田 衛
(コード番号 5103 東証第二部)
問合せ先 執行役財務総務担当 庄司 友彦
(TEL. 04-7131-0181)

(訂正・数字データ訂正あり)「平成23年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成23年5月13日に公表いたしました「平成23年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容について、一部訂正すべき事項がございましたので、下記のとおり訂正いたします。なお、訂正箇所は下線を付して表示しており、訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 主な訂正理由

平成23年3月31日償還予定の投資債券2,640,000千円について平成23年5月24日現在で未償還残高2,540,000千円となっており、再度、回収可能性を検討した結果、保守的に評価し直す必要があると判断し、貸倒引当金を計上することといたしました。なお、貸倒引当金についての詳細は平成23年5月28日付け「特別損失(貸倒引当金)の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 訂正箇所一覧

- ① 1. 平成23年3月期の連結業績 (1) 連結経営成績 (2) 連結財政状態
- ② (参考) 個別業績の概要
 - 1. 23年3月期の個別業績 (1) 個別経営成績 (2) 個別財政状態
- ③ 1. 経営成績 (1) 経営成績に関する分析 ① 当期の営業成績
(2) 財政状態に関する分析 ① (イ) 資産 (ハ) 純資産
(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移
(4) 事業等のリスク ⑨ 継続企業の前提に関する重要な事項
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等
- ④ 4. 連結財務諸表 (1) 連結貸借対照表
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書(連結損益計算書)
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書(連結包括利益計算書)
(3) 連結株主資本等変動計算書
(5) 継続企業の前提に関する注記

- (8) 連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報）
 - 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報（当連結会計年度）
 - (8) 連結財務諸表に関する注記事項（関連当事者情報）当連結会計年度
 - 1. 関連当事者との取引
 - (1) 連結財務諸表提出会社と関連当事者の取引
 - (ア) 連結財務諸表提出会社の親会社及び主要株主等
 - (8) 連結財務諸表に関する注記事項（1株当たり情報）
- ⑤ 5. 個別財務諸表
- (1) 貸借対照表
 - (2) 損益計算書
 - (3) 株主資本等変動計算書
 - (4) 継続企業の前提に関する注記

なお、訂正箇所には下線を付してあります。

①

【訂正前】

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期の連結業績 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期	3,361	7.5	△547	—	△904	—	△1,384	—
22年3月期	3,126	△19.9	△421	—	153	—	155	—

(注) 包括利益 23年3月期 △1,383百万円(—%) 22年3月期 214百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
23年3月期	△29 76	—	△27.0	△12.1	△16.3
22年3月期	3 40	—	2.5	1.8	△13.5

(参考) 持分法投資損益 23年3月期 △2百万円 22年3月期 △4百万円

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		円 銭	円 銭
23年3月期	7,499		5,168		68.3	110	10
22年3月期	8,764		6,546		74.2	139	84

(参考) 自己資本 23年3月期 5,121百万円 22年3月期 6,505百万円

【訂正後】

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期の連結業績 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期	3,361	7.5	△547	—	△971	—	△3,260	—
22年3月期	3,126	△19.9	△421	—	153	—	155	—

(注) 包括利益 23年3月期 △3,259百万円(—%) 22年3月期 214百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
23年3月期	△70 08	—	△66.9	△13.5	△16.3
22年3月期	3 40	—	2.5	1.8	△13.5

(参考) 持分法投資損益 23年3月期 △2百万円 22年3月期 △4百万円

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		円 銭	円 銭
23年3月期	5,624		3,293		57.7	69	78
22年3月期	8,764		6,546		74.2	139	84

(参考) 自己資本 23年3月期 3,246百万円 22年3月期 6,505百万円

②

【訂正前】

(参考) 個別業績の概要

1. 23年3月期の個別業績 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期	265	△84.0	△55	—	△393	—	△1,618	—
22年3月期	1,661	△53.8	△241	—	374	—	397	—

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期	△34	79	—	—
22年3月期	8	69	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23年3月期	6,227		4,997		80.1	107	21	
22年3月期	7,874		6,603		83.8	141	87	

(参考) 自己資本

23年3月期 4,987百万円

22年3月期

6,599百万円

【訂正後】

(参考) 個別業績の概要

1. 23年3月期の個別業績 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期	265	△84.0	△55	—	△459	—	△3,493	—
22年3月期	1,661	△53.8	△241	—	374	—	397	—

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期	△75	11	—	—
22年3月期	8	69	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23年3月期	4,351		3,121		71.5	66	89	
22年3月期	7,874		6,603		83.8	141	87	

(参考) 自己資本

23年3月期 3,111百万円

22年3月期

6,599百万円

③ (3ページ)

【訂正前】

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

①当期の営業成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、輸出関連を中心とした企業業績の回復や、政府による緊急経済対策の効果などから一部に改善の兆しが見られるものの、欧州財政の信用不安や急激な円高、厳しい雇用環境、国内でのデフレ基調など、それらが主要因となり、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような経済状況のもと、当社グループを取り巻く周辺環境も一段と厳しさを増しております。

当連結会計年度の連結売上高は、緩やかに回復基調にある設備投資関連の需要を確実に取り込めるよう販売力の強化を積極的に進めた結果、前年同期比7.5%増の3,361,957千円となりました。損益面におきましては、中期経営計画実現のため、様々な取り組みにより、損益分岐点の低下を図っておりますが、一部の原材料価格の高騰による影響を含め、営業損失は547,032千円（前年度は営業損失421,107千円）となり、有価証券の評価損等の計上により営業外費用が増加したため、経常損失は904,990千円（前年度は経常利益153,894千円）となりました。当期純損失は、有形固定資産等の減損処理により1,384,550千円（前年度は当期純利益155,511千円）となりました。

〈省略〉

【訂正後】

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

①当期の営業成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、輸出関連を中心とした企業業績の回復や、政府による緊急経済対策の効果などから一部に改善の兆しが見られるものの、欧州財政の信用不安や急激な円高、厳しい雇用環境、国内でのデフレ基調など、それらが主要因となり、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような経済状況のもと、当社グループを取り巻く周辺環境も一段と厳しさを増しております。

当連結会計年度の連結売上高は、緩やかに回復基調にある設備投資関連の需要を確実に取り込めるよう販売力の強化を積極的に進めた結果、前年同期比7.5%増の3,361,957千円となりました。損益面におきましては、中期経営計画実現のため、様々な取り組みにより、損益分岐点の低下を図っておりますが、一部の原材料価格の高騰による影響を含め、営業損失は547,032千円（前年度は営業損失421,107千円）となり、有価証券の評価損等の計上により営業外費用が増加したため、経常損失は971,684千円（前年度は経常利益153,894千円）となりました。当期純損失は、有形固定資産等の減損処理及び未収入金の貸倒引当繰入処理により3,260,065千円（前年度は当期純利益155,511千円）となりました。

〈省略〉

(4ページ)

【訂正前】

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

当連結会計年度末における資産残高は7,499,896千円（前連結会計年度末比1,264,324千円減）となり、流動資産は5,108,946千円（前連結会計年度末比1,565,701千円増）、固定資産は2,390,950千円（前連結会計年度末比2,830,026千円減）となりました。

流動資産増加の主な要因は、長期の満期保有債権が短期未収債権となったことにより、投資有価証券2,640,000千円を未収入金へ振替えたことによります。

固定資産減少の主な要因は、有形固定資産及び無形固定資産の減損損失の計上、長期の満期保有債権が短期未収債権となったことにより、投資有価証券2,640,000千円を未収入金へ振替えたことによります。

(ハ) 純資産

当連結会計年度末における純資産残高は5,168,877千円（前連結会計年度末比1,378,034千円減）となりました。

【訂正後】

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

当連結会計年度末における資産残高は5,624,382千円（前連結会計年度末比3,139,839千円減）となり、流動資産は3,233,431千円（前連結会計年度末比309,813千円減）、固定資産は2,390,950千円（前連結会計年度末比2,830,026千円減）となりました。

流動資産減少の主な要因は、長期の満期保有目的債券が短期未収債権となったことにより、投資有価証券2,640,000千円を未収入金へ振替えておりますが、回収の可能性を検討した結果、保守的に評価し貸倒引当金を繰入れた事によります。

固定資産減少の主な要因は、有形固定資産及び無形固定資産の減損損失の計上、長期の満期保有債権が短期未収債権となったことにより、投資有価証券2,640,000千円を未収入金へ振替えたことによります。

(ハ) 純資産

当連結会計年度末における純資産残高は3,293,363千円（前連結会計年度末比3,253,549千円減）となりました。

(5ページ)

【訂正前】

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
自己資本比率	78.1	74.3	73.6	74.2	<u>68.3</u>
時価ベースの自己資本比率	36.6	33.6	20.2	23.0	<u>15.5</u>
キャッシュ・フロー対有利子 負債比率	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・ レシオ	—	—	—	—	—

【訂正後】

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
自己資本比率	78.1	74.3	73.6	74.2	<u>57.7</u>
時価ベースの自己資本比率	36.6	33.6	20.2	23.0	<u>20.7</u>
キャッシュ・フロー対有利子 負債比率	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・ レシオ	—	—	—	—	—

(7ページ)

【訂正前】

(4) 事業等のリスク

〈省略〉

⑨継続企業の前提に関する重要な事項

当社グループは、前連結会計年度において155,511千円の当期純利益を計上したものの、421,107千円の営業損失を計上しております。当連結会計年度においても547,032千円の営業損失および1,384,550千円の当期純損失を計上しております。また、営業キャッシュ・フローについても継続的にマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

【訂正後】

(4) 事業等のリスク

〈省略〉

⑨継続企業の前提に関する重要な事項

当社グループは、前連結会計年度において155,511千円の当期純利益を計上したものの、421,107千円の営業損失を計上しております。当連結会計年度においても547,032千円の営業損失および3,260,065千円の当期純損失を計上しております。また、営業キャッシュ・フローについても継続的にマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

(8ページ)

【訂正前】

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において155,511千円の当期純利益を計上したものの、421,107千円の営業損失を計上しております。当連結会計年度においても547,032千円の営業損失および1,384,550千円の当期純損失を計上しております。また、営業キャッシュ・フローについても継続的にマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

〈省略〉

また、当社グループは厳しい市場環境の中、次の基本方針を達成し、営業利益の確保を図れるよう「中期経営計画」を策定しておりますので重要な疑義は解消できると考えております。

1. 現在、当社グループの自己資本比率は68.3%であり、財務上、十分な安全性を持っていると考えております。

〈省略〉

【訂正後】

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において155,511千円の当期純利益を計上したものの、421,107千円の営業損失を計上しております。当連結会計年度においても547,032千円の営業損失および3,260,065千円の当期純損失を計上しております。また、営業キャッシュ・フローについても継続的にマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

〈省略〉

また、当社グループは厳しい市場環境の中、次の基本方針を達成し、営業利益の確保を図れるよう「中期経営計画」を策定しておりますので重要な疑義は解消できると考えております。

1. 現在、当社グループの自己資本比率は57.7%であり、財務上、十分な安全性を持っていると考えております。

〈省略〉

④ (12ページ)

【訂正前】

4. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成22年3月31日)	当連結会計年度 (平成23年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	790,228	221,521
受取手形及び売掛金	916,137	1,057,536
有価証券	910,928	241,153
商品及び製品	231,161	209,422
仕掛品	189,786	153,225
原材料及び貯蔵品	78,711	95,398
未収入金	104,683	<u>2,748,425</u>
短期貸付金	270,000	350,000
その他	53,880	34,244
貸倒引当金	<u>△2,271</u>	<u>△1,981</u>
流動資産合計	<u>3,543,244</u>	<u>5,108,946</u>
固定資産		
有形固定資産		
〈省略〉		
有形固定資産合計	※1 2,245,333	※1 2,135,880
無形固定資産	7,658	6,464
投資その他の資産		
〈省略〉		
投資その他の資産合計	2,967,985	248,606
固定資産合計	5,220,976	2,390,950
資産合計	<u>8,764,221</u>	<u>7,499,896</u>

【訂正後】

4. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成22年3月31日)	当連結会計年度 (平成23年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	790,228	221,521
受取手形及び売掛金	916,137	1,057,536
有価証券	910,928	241,153
商品及び製品	231,161	209,422
仕掛品	189,786	153,225
原材料及び貯蔵品	78,711	95,398
未収入金	104,683	<u>2,681,730</u>
短期貸付金	270,000	350,000
その他	53,880	34,244
貸倒引当金	<u>△2,271</u>	<u>△1,810,801</u>
流動資産合計	<u>3,543,244</u>	<u>3,233,431</u>
固定資産		
有形固定資産		
〈省略〉		
有形固定資産合計	<u>※1 2,245,333</u>	<u>※1 2,135,880</u>
無形固定資産	7,658	6,464
投資その他の資産		
〈省略〉		
投資その他の資産合計	<u>2,967,985</u>	<u>248,606</u>
固定資産合計	<u>5,220,976</u>	<u>2,390,950</u>
資産合計	<u>8,764,221</u>	<u>5,624,382</u>

(13ページ)

【訂正前】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成22年3月31日)	当連結会計年度 (平成23年3月31日)
負債の部		
〈省略〉		
負債合計	2,217,308	2,331,018
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036,941	4,036,941
資本剰余金	1,000,627	1,000,627
利益剰余金	291,419	<u>△1,093,131</u>
自己株式	△23,148	△23,160
株主資本合計	5,305,839	<u>3,921,277</u>
その他の包括利益累計額		
〈省略〉		
その他の包括利益累計額合計	1,199,314	1,200,545
新株予約権	3,899	9,690
少数株主持分	37,859	37,364
純資産合計	6,546,912	<u>5,168,877</u>
負債純資産合計	8,764,221	<u>7,499,896</u>

【訂正後】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成22年3月31日)	当連結会計年度 (平成23年3月31日)
負債の部		
〈省略〉		
負債合計	2,217,308	2,331,018
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036,941	4,036,941
資本剰余金	1,000,627	1,000,627
利益剰余金	291,419	<u>△2,968,645</u>
自己株式	△23,148	△23,160
株主資本合計	5,305,839	<u>2,045,763</u>
その他の包括利益累計額		
〈省略〉		
その他の包括利益累計額合計	1,199,314	1,200,545
新株予約権	3,899	9,690
少数株主持分	37,859	37,364
純資産合計	6,546,912	<u>3,293,363</u>
負債純資産合計	8,764,221	<u>5,624,382</u>

(14ページ)

【訂正前】

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
売上高	3,126,150	3,361,957
売上原価	※4 2,436,123	※4 2,718,132
売上総利益	690,027	643,824
販売費及び一般管理費	※1, ※4 1,111,135	※1, ※4 1,190,856
営業損失(△)	△421,107	△547,032
営業外収益		
受取利息	199,739	141,450
受取配当金	5,273	8,665
受取賃貸料	1,582	1,735
有価証券売却益	62,804	—
有価証券評価益	410,502	—
貸倒引当金戻入額	23	—
その他	15,300	19,224
営業外収益合計	695,227	171,076
営業外費用		
〈省略〉		
営業外費用合計	120,224	529,033
経常利益又は経常損失(△)	153,894	△904,990
特別利益		
〈省略〉		
特別利益合計	28,726	752
特別損失		
減損損失	※2 —	※2 321,424
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	146,095
投資有価証券売却損	—	1,117
投資有価証券評価損	—	8,080
固定資産処分損	※3 2,392	※3 1,250
特別損失合計	2,392	477,968
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	180,228	△1,382,206
法人税、住民税及び事業税	24,783	2,257
法人税等合計	24,783	2,257
少数株主損益調整前当期純損失(△)	—	△1,384,464
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△66	86
当期純利益又は当期純損失(△)	155,511	△1,384,550

【訂正後】

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日)
売上高	3,126,150	3,361,957
売上原価	※4 2,436,123	※4 2,718,132
売上総利益	690,027	643,824
販売費及び一般管理費	※1, ※4 1,111,135	※1, ※4 1,190,856
営業損失 (△)	△421,107	△547,032
営業外収益		
受取利息	199,739	74,755
受取配当金	5,273	8,665
受取賃貸料	1,582	1,735
有価証券売却益	62,804	—
有価証券評価益	410,502	—
貸倒引当金戻入額	23	—
その他	15,300	19,224
営業外収益合計	695,227	104,381
営業外費用		
〈省略〉		
営業外費用合計	120,224	529,033
経常利益又は経常損失 (△)	153,894	△971,684
特別利益		
〈省略〉		
特別利益合計	28,726	752
特別損失		
減損損失	※2 —	※2 321,424
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	146,095
投資有価証券売却損	—	1,117
投資有価証券評価損	—	8,080
貸倒引当繰入額	—	1,808,820
固定資産処分損	※3 2,392	※3 1,250
特別損失合計	2,392	2,286,788
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失 (△)	180,228	△3,257,721
法人税、住民税及び事業税	24,783	2,257
法人税等合計	24,783	2,257
少数株主損益調整前当期純損失 (△)	—	△3,259,978
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△66	86
当期純利益又は当期純損失 (△)	155,511	△3,260,065

(15ページ)

【訂正前】

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
少数株主損益調整前当期純損失 (△)	—	<u>△1,384,464</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	6,024
為替換算調整勘定	—	△5,374
その他の包括利益合計	—	※2 650
包括利益	—	※1 <u>△1,383,814</u>
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	—	<u>△1,383,319</u>
少数株主に係る包括利益	—	△495

【訂正後】

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
少数株主損益調整前当期純損失 (△)	—	<u>△3,259,978</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	6,024
為替換算調整勘定	—	△5,374
その他の包括利益合計	—	※2 650
包括利益	—	※1 <u>△3,259,328</u>
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	—	<u>△3,258,833</u>
少数株主に係る包括利益	—	△495

【訂正前】

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
〈省略〉		
利益剰余金		—
前期末残高	△3,643,108	291,419
当期変動額		
欠損填補	3,779,016	
当期純利益又は当期純損失 (△)	155,511	<u>△1,384,550</u>
当期変動額合計	3,934,527	<u>△1,384,550</u>
当期末残高	291,419	<u>△1,093,131</u>
自己株式		
前期末残高	△8,613	△23,148
当期変動額		
自己株式の取得	△14,535	△11
当期変動額合計	△14,535	△11
当期末残高	△23,148	△23,160
株主資本合計		
前期末残高	4,964,704	5,305,839
当期変動額		
新株の発行	200,158	—
当期純利益又は当期純損失 (△)	155,511	<u>△1,384,550</u>
自己株式の取得	△14,535	△11
当期変動額合計	341,134	<u>△1,384,562</u>
当期末残高	5,305,839	<u>3,921,277</u>
〈省略〉		
純資産合計		
前期末残高	6,106,297	6,546,912
当期変動額		
新株の発行	200,158	—
当期純利益又は当期純損失 (△)	155,511	<u>△1,384,550</u>
自己株式の取得	△14,535	△11
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	99,480	6,527
当期変動額合計	440,614	<u>△1,378,034</u>
当期末残高	6,546,912	<u>5,168,877</u>

【訂正後】

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
〈省略〉		
利益剰余金		—
前期末残高	△3,643,108	291,419
当期変動額		
欠損填補	3,779,016	—
当期純利益又は当期純損失 (△)	155,511	△3,260,065
当期変動額合計	3,934,527	△3,260,065
当期末残高	291,419	△2,968,645
自己株式		
前期末残高	△8,613	△23,148
当期変動額		
自己株式の取得	△14,535	△11
当期変動額合計	△14,535	△11
当期末残高	△23,148	△23,160
株主資本合計		
前期末残高	4,964,704	5,305,839
当期変動額		
新株の発行	200,158	—
当期純利益又は当期純損失 (△)	155,511	△3,260,065
自己株式の取得	△14,535	△11
当期変動額合計	341,134	△3,260,076
当期末残高	5,305,839	2,045,763
〈省略〉		
純資産合計		
前期末残高	6,106,297	6,546,912
当期変動額		
新株の発行	200,158	—
当期純利益又は当期純損失 (△)	155,511	△3,260,065
自己株式の取得	△14,535	△11
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	99,480	6,527
当期変動額合計	440,614	△3,253,549
当期末残高	6,546,912	3,293,363

(20ページ)

【訂正前】

(5) 継続企業の前提に関する注記

前連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
<p>当社グループは、前連結会計年度において261,622千円の営業損失および1,297,059千円の当期純損失を計上しております。当連結会計年度においては155,511千円の当期純利益を計上したものの、421,107千円の営業損失を計上いたしました。また、営業キャッシュ・フローにおいても3期連続してマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義が存在しております。</p> <p>〈省略〉</p> <p>また、当社グループは厳しい市場環境の中、次の基本方針を達成し、営業利益の確保を図れるよう「中期経営改善計画」を策定しておりますので重要な疑義は解消できると考えております。</p> <p>1. 現在、当社グループの自己資本比率は74.2%であり、財務上、十分な安全性を持っていると考えております。</p> <p>〈省略〉</p>	<p>当社グループは、前連結会計年度において155,511千円の当期純利益を計上したものの、421,107千円の営業損失を計上しております。当連結会計年度においても547,032千円の営業損失および1,384,550千円の当期純損失を計上しております。また、営業キャッシュ・フローについても継続的にマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。</p> <p>〈省略〉</p> <p>また、当社グループは厳しい市場環境の中、次の基本方針を達成し、営業利益の確保を図れるよう「中期経営改善計画」を策定しておりますので重要な疑義は解消できると考えております。</p> <p>1. 現在、当社グループの自己資本比率は68.3%であり、財務上、十分な安全性を持っていると考えております。</p> <p>〈省略〉</p>

〈省略〉

【訂正後】

(5) 継続企業の前提に関する注記

前連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
<p>当社グループは、前連結会計年度において261,622千円の営業損失および1,297,059千円の当期純損失を計上しております。当連結会計年度においては155,511千円の当期純利益を計上したものの、421,107千円の営業損失を計上いたしました。また、営業キャッシュ・フローにおいても3期連続してマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義が存在しております。</p> <p>〈省略〉</p> <p>また、当社グループは厳しい市場環境の中、次の基本方針を達成し、営業利益の確保を図れるよう「中期経営改善計画」を策定しておりますので重要な疑義は解消できると考えております。</p> <p>1. 現在、当社グループの自己資本比率は74.2%であり、財務上、十分な安全性を持っていると考えております。</p> <p>〈省略〉</p>	<p>当社グループは、前連結会計年度において155,511千円の当期純利益を計上したものの、421,107千円の営業損失を計上しております。当連結会計年度においても547,032千円の営業損失および3,260,065千円の当期純損失を計上しております。また、営業キャッシュ・フローについても継続的にマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。</p> <p>〈省略〉</p> <p>また、当社グループは厳しい市場環境の中、次の基本方針を達成し、営業利益の確保を図れるよう「中期経営改善計画」を策定しておりますので重要な疑義は解消できると考えております。</p> <p>1. 現在、当社グループの自己資本比率は57.7%であり、財務上、十分な安全性を持っていると考えております。</p> <p>〈省略〉</p>

〈省略〉

(48ページ)

【訂正前】

(セグメント情報)

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	調整額 (注2)	合計
	工業用品 事業	食品医療 用品事業	スポーツ 用品事業	計			
〈省略〉							
セグメント資産	1,932,366	403,930	651,838	2,988,135	4,511,760	—	7,499,896
その他の項目 〈省略〉							

【訂正後】

(セグメント情報)

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	調整額 (注2)	合計
	工業用品 事業	食品医療 用品事業	スポーツ 用品事業	計			
〈省略〉							
セグメント資産	1,887,734	392,012	641,694	2,921,441	2,702,940	—	5,624,382
その他の項目 〈省略〉							

(54ページ)

【訂正前】

(関連当事者情報)

当連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

1 関連当事者との取引

(1) 連結財務諸表提出会社と関連当事者の取引

(ア) 連結財務諸表提出会社の親会社及び主要株主(会社等の場合に限る。)等

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)の割合	関係内容		取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
						役員 の兼任等	事業上 の関係				
主要株主	A.P.F. ホールディングス(株)	大阪府松 原市	(千円) 3,000	事業会社の株式を取得・保有することにより、当該会社の事業活動を支配・管理する事業	(被所有)直接 10.64%	1	—	資金の貸付	460,000	短期貸付金	350,000
								貸付金の回収	110,000	短期貸付金	—
								利息の受取	20,226	未収利息	15,408

【訂正後】

(関連当事者情報)

当連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

1 関連当事者との取引

(1) 連結財務諸表提出会社と関連当事者の取引

(ア) 連結財務諸表提出会社の親会社及び主要株主(会社等の場合に限る。)等

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)の割合	関係内容		取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
						役員の兼任等	事業上の関係				
主要株主	A.P.F.ホールディングス㈱	大阪府松原市	(千円)3,000	事業会社の株式を取得・保有することにより、当該会社の事業活動を支配・管理する事業	(被所有)直接10.64%	1	—	資金の貸付	460,000	短期貸付金	350,000
								貸付金の回収	380,000	短期貸付金	—
								利息の受取	20,226	未収利息	15,408

(55ページ)

【訂正前】

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	
1株当たり純資産額	139円84銭	1株当たり純資産額	110円10銭
1株当たり当期純利益	3円40銭	1株当たり当期純損失	29円76銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在していないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
連結損益計算書上の当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	155,511	△1,384,550
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	155,511	△1,384,550
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	45,751	46,519
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	平成21年 ストック・オプションとしての 新株予約権 (新株予約権の数9,310個)	平成21年 ストック・オプションとしての 新株予約権 (新株予約権の数8,530個)

【訂正後】

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	
1株当たり純資産額	139円84銭	1株当たり純資産額	<u>69円78銭</u>
1株当たり当期純利益	3円40銭	1株当たり当期純損失	<u>70円08銭</u>
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在していないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
連結損益計算書上の当期純利益 又は当期純損失(△)(千円)	155,511	<u>△3,260,065</u>
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	155,511	<u>△3,260,065</u>
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	45,751	46,519
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	平成21年 ストック・オプションとし ての新株予約権 (新株予約権の数9,310個)	平成21年 ストック・オプションとし ての新株予約権 (新株予約権の数8,530個)

⑤ (57ページ)

【訂正前】

5. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成22年3月31日)	当事業年度 (平成23年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	378,454	26,549
有価証券	910,928	241,153
前払費用	6,709	8,316
未収入金	112,819	3,190,643
短期貸付金	1,351,000	—
株主、役員又は従業員に対する短期債権	—	350,000
その他	39,039	5,217
貸倒引当金	△1,502,858	△208,510
流動資産合計	1,296,091	3,613,369
固定資産		
有形固定資産		
〈省略〉		
有形固定資産合計	2,130,766	2,050,895
無形固定資産		
その他	1,747	1,347
無形固定資産合計	1,747	1,347
投資その他の資産		
〈省略〉		
投資その他の資産合計	4,445,799	561,453
固定資産合計	6,578,313	2,613,696
資産合計	7,878,405	6,227,065

【訂正後】

5. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成22年3月31日)	当事業年度 (平成23年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	378,454	26,549
有価証券	910,928	241,153
前払費用	6,709	8,316
未収入金	112,819	3,123,948
短期貸付金	1,351,000	—
株主、役員又は従業員に対する短期債権	—	350,000
その他	39,039	5,217
貸倒引当金	△1,502,858	△2,017,330
流動資産合計	1,296,091	1,737,855
固定資産		
有形固定資産		
〈省略〉		
有形固定資産合計	2,130,766	2,050,895
無形固定資産		
その他	1,747	1,347
無形固定資産合計	1,747	1,347
投資その他の資産		
〈省略〉		
投資その他の資産合計	4,445,799	561,453
固定資産合計	6,578,313	2,613,696
資産合計	7,878,405	4,351,551

	前事業年度 (平成22年3月31日)	当事業年度 (平成23年3月31日)
負債の部		
〈省略〉		
負債合計	1,270,708	1,230,029
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036,941	4,036,941
資本剰余金		
〈省略〉		
資本剰余金合計	1,000,627	1,000,627
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	397,767	<u>△1,220,697</u>
利益剰余金合計	397,767	<u>△1,220,697</u>
自己株式	△23,148	△23,160
株主資本合計	5,412,187	<u>3,793,710</u>
評価・換算差額等		
〈省略〉		
評価・換算差額等合計	1,187,610	1,193,635
新株予約権	3,899	9,690
純資産合計	6,603,697	<u>4,997,036</u>
負債純資産合計	7,874,405	<u>6,227,065</u>

【訂正後】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成22年3月31日)	当事業年度 (平成23年3月31日)
負債の部		
〈省略〉		
負債合計	1,270,708	1,230,029
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036,941	4,036,941
資本剰余金		
〈省略〉		
資本剰余金合計	1,000,627	1,000,627
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	397,767	<u>△3,096,212</u>
利益剰余金合計	397,767	<u>△3,096,212</u>
自己株式	△23,148	△23,160
株主資本合計	5,412,187	<u>1,918,196</u>
評価・換算差額等		
〈省略〉		
評価・換算差額等合計	1,187,610	1,193,635
新株予約権	3,899	9,690
純資産合計	6,603,697	<u>3,121,521</u>
負債純資産合計	7,874,405	<u>4,351,551</u>

【訂正前】

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)	当事業年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日)
売上高	1,661,939	265,080
売上原価	1,366,618	45,160
売上総利益	295,321	219,919
販売費及び一般管理費	536,446	275,761
営業損失(△)	△241,125	△55,841
営業外収益		
受取利息	221,908	160,770
受取配当金	5,273	8,665
有価証券売却益	62,804	—
有価証券評価益	410,502	—
その他	15,534	12,170
営業外収益合計	716,023	181,607
営業外費用		
〈省略〉		
営業外費用合計	100,607	518,958
経常利益又は経常損失(△)	374,290	△393,192
特別利益		
〈省略〉		
特別利益合計	28,726	752
特別損失		
減損損失	—	62,083
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	146,095
投資有価証券売却損	—	1,117
関係会社株式評価損	—	658,740
投資有価証券評価損	—	8,080
投資損失引当金繰入額	—	349,350
固定資産処分損	2,340	0
特別損失合計	2,340	1,225,469
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	400,677	△1,617,909
法人税、住民税及び事業税	2,910	555
法人税等合計	2,910	555
当期純利益又は当期純損失(△)	397,767	△1,618,465

【訂正後】

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)	当事業年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日)
売上高	1,661,939	265,080
売上原価	1,366,618	45,160
売上総利益	295,321	219,919
販売費及び一般管理費	536,446	275,761
営業損失(△)	△241,125	△55,841
営業外収益		
受取利息	221,908	94,076
受取配当金	5,273	8,665
有価証券売却益	62,804	—
有価証券評価益	410,502	—
その他	15,534	12,170
営業外収益合計	716,023	114,913
営業外費用		
〈省略〉		
営業外費用合計	100,607	518,958
経常利益又は経常損失(△)	374,290	△459,887
特別利益		
〈省略〉		
特別利益合計	28,726	752
特別損失		
減損損失	—	62,083
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	146,095
投資有価証券売却損	—	1,117
関係会社株式評価損	—	658,740
投資有価証券評価損	—	8,080
投資損失引当金繰入額	—	349,350
貸倒引当金繰入額	—	1,808,820
固定資産処分損	2,340	0
特別損失合計	2,340	3,034,289
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	400,677	△3,493,424
法人税、住民税及び事業税	2,910	555
法人税等合計	2,910	555
当期純利益又は当期純損失(△)	397,767	△3,493,979

【訂正前】

(3) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)	当事業年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日)
〈省略〉		
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
前期末残高	△3,779,016	397,767
当期変動額		
欠損填補	3,779,016	—
当期純利益又は当期純損失(△)	397,767	△1,618,465
当期変動額合計	4,176,783	△1,618,465
当期末残高	397,767	△1,220,697
利益剰余金合計		
前期末残高	△3,779,016	397,767
当期変動額		
欠損填補	3,779,016	—
当期純利益又は当期純損失(△)	397,767	△1,618,465
当期変動額合計	4,176,783	△1,618,465
当期末残高	397,767	△1,220,697
自己株式		
前期末残高	△8,613	△23,148
〈省略〉		
当期末残高	△23,148	△23,160
株主資本合計		
前期末残高	4,828,797	5,412,187
当期変動額		
新株の発行	200,158	—
当期純利益又は当期純損失(△)	397,767	△1,618,465
自己株式の取得	△14,535	△11
当期変動額合計	583,390	△1,618,477
当期末残高	5,412,187	3,793,710
〈省略〉		
純資産合計		
前期末残高	6,014,979	6,603,697
当期変動額		
新株の発行	200,158	—
当期純利益又は当期純損失(△)	397,767	△1,618,465
自己株式の取得	△14,535	△11
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	5,326	11,815
当期変動額合計	588,717	△1,606,661
当期末残高	6,603,697	4,997,036

【訂正後】

(3) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)	当事業年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日)
〈省略〉		
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
前期末残高	△3,779,016	397,767
当期変動額		
欠損填補	3,779,016	—
当期純利益又は当期純損失 (△)	397,767	<u>△3,493,979</u>
当期変動額合計	4,176,783	<u>△3,493,979</u>
当期末残高	397,767	<u>△3,096,212</u>
利益剰余金合計		
前期末残高	△3,779,016	397,767
当期変動額		
欠損填補	3,779,016	—
当期純利益又は当期純損失 (△)	397,767	<u>△3,493,979</u>
当期変動額合計	4,176,783	<u>△3,493,979</u>
当期末残高	397,767	<u>△3,096,212</u>
自己株式		
前期末残高	△8,613	△23,148
〈省略〉		
当期末残高	△23,148	△23,160
株主資本合計		
前期末残高	4,828,797	5,412,187
当期変動額		
新株の発行	200,158	—
当期純利益又は当期純損失 (△)	397,767	<u>△3,493,979</u>
自己株式の取得	△14,535	△11
当期変動額合計	583,390	<u>△3,493,991</u>
当期末残高	5,412,187	<u>1,918,196</u>
〈省略〉		
純資産合計		
前期末残高	6,014,979	6,603,697
当期変動額		
新株の発行	200,158	—
当期純利益又は当期純損失 (△)	397,767	<u>△3,493,979</u>
自己株式の取得	△14,535	△11
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	5,326	11,815
当期変動額合計	588,717	<u>△3,482,175</u>
当期末残高	6,603,697	<u>3,121,521</u>

【訂正前】

(4) 継続企業の前提に関する注記

前事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	当事業年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
<p>当社は、前事業年度において315,748千円の営業損失および1,321,003千円の当期純損失を計上しております。当事業年度においては397,767千円の当期純利益を計上したものの241,125千円の営業損失を計上いたしました。また、営業キャッシュ・フローにおいても3期連続してマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義が存在しております。</p> <p>〈省略〉</p> <p>また、当社は厳しい市場環境の中、次の基本方針を達成し、営業利益の確保を図れるよう「中期経営改善計画」を策定しておりますので重要な疑義は解消できると考えております。</p> <p>1. 現在、当社の自己資本比率は83.8%であり、財務上、十分な安全性を持っていると考えております。</p> <p>〈省略〉</p>	<p>当社は、前事業年度において397,767千円の当期純利益を計上したものの、241,125千円の営業損失を計上しております。当事業年度においても55,841千円の営業損失および1,618,465千円の当期純損失を計上しております。また、営業キャッシュ・フローについても継続的にマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。</p> <p>〈省略〉</p> <p>また、当社は厳しい市場環境の中、次の基本方針を達成し、営業利益の確保を図れるよう「中期経営改善計画」を策定しておりますので重要な疑義は解消できると考えております。</p> <p>1. 現在、当社の自己資本比率は80.1%であり、財務上、十分な安全性を持っていると考えております。</p> <p>〈省略〉</p>

〈省略〉

【訂正後】

(4) 継続企業の前提に関する注記

前事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	当事業年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
<p>当社は、前事業年度において315,748千円の営業損失および1,321,003千円の当期純損失を計上しております。当事業年度においては397,767千円の当期純利益を計上したものの241,125千円の営業損失を計上いたしました。また、営業キャッシュ・フローにおいても3期連続してマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義が存在しております。</p> <p>〈省略〉</p> <p>また、当社は厳しい市場環境の中、次の基本方針を達成し、営業利益の確保を図れるよう「中期経営改善計画」を策定しておりますので重要な疑義は解消できると考えております。</p> <p>1. 現在、当社の自己資本比率は83.8%であり、財務上、十分な安全性を持っていると考えております。</p> <p>〈省略〉</p>	<p>当社は、前事業年度において397,767千円の当期純利益を計上したものの、241,125千円の営業損失を計上しております。当事業年度においても55,841千円の営業損失および3,493,979千円の当期純損失を計上しております。また、営業キャッシュ・フローについても継続的にマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。</p> <p>〈省略〉</p> <p>また、当社は厳しい市場環境の中、次の基本方針を達成し、営業利益の確保を図れるよう「中期経営改善計画」を策定しておりますので重要な疑義は解消できると考えております。</p> <p>1. 現在、当社の自己資本比率は71.5%であり、財務上、十分な安全性を持っていると考えております。</p> <p>〈省略〉</p>

〈省略〉